

# 三豊総合病院だより Mitoyo General Hospital



発行●三豊総合病院  
発行人●白川 和豊

KOKORO

2013  
58



## 平成24年度 災害訓練を終えて

3月14日(木)平日ではありましたが、診療業務と並行し午後より災害訓練を実施しました。訓練想定は、高知沖を震源とするマグニチュード9、最大震度7の巨大地震が発生。観音寺市内全域で停電及び断水。模擬患者50名、スタッフ80名を動員し、患者受け入れから重症度を判断するトリアージ、患者移送、救急対応の実際までを行いました。また同時に、三観広域の救急隊による患者移送や災害時に連携が必要な県や市、当院以外の医師会や薬剤師会も巻き込んで情報伝達訓練も行いました。

さて、みなさんもお存じと思いますが、当院は、地域中核病院としての役割のほか、災害時には医療機関の最後の砦となる災害拠点病院の役割も担っております。平成19年度より着工した新棟整備事業はまもなく平成25年9月を以って完成を迎えますが、それにより全ての建物が免震または耐震機能を備えた地震に強い建物となります。また、西棟にある広い廊下には、酸素や吸引の設備を整えており、災害時には多くの傷病者の受け入れができるようになっています。

このように三豊総合病院の施設・設備面は災害拠点病院の名に恥じないものへと変わりつつありますが、私たちの災害に対する意識、備えはいかがでしょうか。大半の方は「大地震なんて来ない」または「来ても大丈夫」と思っておられるのではないのでしょうか。地震研究では、30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率は87%と言われており、内閣府の発表では、その地震による被害想定は死者最大32万人など東日本大震災を大きく超えるものであります。一方で、迅速な避難などによって被害を大幅に軽減できるものともされており、常日頃からひとりひとりが防災意識を高めておくことが大切です。

最後になりますが、今回のような診療と並行しての訓練は、皆様方にご迷惑をお掛けすることになりますが、訓練から得た学びや課題を大切にしつつ、これからも地域の皆様とともに災害対策について考えていきたいと思っております。ご理解ご協力をお願いいたします。



▲重症者エリアでの対応の様子



▲備蓄倉庫からの機材搬出の様子



▲トリアージエリアからの状況報告の様子



## 消化器内科 (内視鏡部門) 紹介

食道、胃、十二指腸、小腸、大腸などの消化管の疾患、胆道疾患、膵臓疾患の診療を行っています。

上部内視鏡検査、大腸内視鏡検査、胆膵系検査、小腸内視鏡検査などの内視鏡検査のほか、治療内視鏡として、早期に発見された食道がん、胃がん、大腸がんの内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)、総胆管結石の結石除去、悪性胆道狭窄に対する胆管ステント留置術、脳卒中などによる嚥下障害のため口から食事が摂れない患者さんへの内視鏡的胃瘻造設術などを行っています。

また、胃潰瘍や十二指腸潰瘍からの出血、食道静脈瘤破裂、消化管の異物、総胆管結石などによる閉塞性黄疸など、緊急で内視鏡処置が必要な場合に備えて、夜間・休日も含め、24時間対応できる体制をとっています。

### 今川 敦 (消化器内科)

特に、早期胃がんの内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を中心に診療しています。

初診：木曜日 午前

再診：月曜日 午前、木曜日 午後



### 幡 英典 (消化器内科)

特に、胆膵疾患を中心に診療しています。

再診：火曜日 午後

(かかりつけの先生からの紹介状があれば、初診でも診療しています。)



### 加地 英輔 (消化器内科)

特に、大腸疾患を中心に診療しています。

初診：木曜日 午前

再診：金曜日 午後



### 神野 秀基 (一般内科・消化器内科)

初診：水曜日 午前

再診：火曜日 午前



**安原 ひさ恵** (一般内科・消化器内科)

炎症性腸疾患を中心に診療しています。  
在宅で療養されている患者さんの訪問診察も行っています。

初診：木曜日 午前

再診：火曜日 午前

**吉田 泰成** (一般内科・消化器内科)

初診：金曜日 午前

**栄 浩行** (一般内科・消化器内科)

初診：火曜日 午前

再診：木曜日 午後

**中津 守人** (一般内科・消化器内科) (地域医療部兼任)

在宅で療養されている患者さんの訪問診察も行っています。

再診：火曜日午後、金曜日午前

(かかりつけの先生からの紹介状があれば、初診でも診療  
しています。)

**遠藤 日登美** (一般内科・消化器内科・健診)

健康管理センターでピロリ菌の除菌治療を中心に診療して  
います。

**お願い**

内視鏡検査で鎮静剤を希望される場合は、検査後の自動車の運転を控えていただく必要がありますので、家族の方に送迎していただくか、交通機関を利用してください。また、抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を服用されている方はお薬手帳を持参ください。

初めて受診される際は、できるだけ、かかりつけの先生からの紹介状をお願いします。（かかりつけの先生から地域医療連携室を通して、上部内視鏡検査を予約することができます。）

## 健康フェア

地域医療部 藤原 友子

平成25年3月9日（土曜）今年も健康フェアが開催されました。花粉、PM2.5、黄砂が飛び交う中、約110名の方々が参加され最後まで熱心に講演に耳を傾けられていました。

今回は『見直してみましようあなたの生活習慣』～動脈硬化予防～をテーマに当院3人の講師による講演がありました。



### 【血管が若返る運動のコツ】 井上 純一 理学療法士

血管の老化（動脈硬化）の原因の一つが内臓脂肪です。お腹の脂肪を減らすと血管が若返ることになります。しかし、腹囲1cmが脂肪1kg、燃焼させるのに7000Kcal消費しなくてはなりません。カロリーを消費するには、運動が必要ですが、ストレスにならないよう歩行、掃除、草むしり等の日常生活の中に運動を取り入れ、食事療法と併用して実践しましょう。

### 【いつもの食事にひと工夫で血管の老化を防ごう】 三河 麻理 管理栄養士

揚げ物より、蒸し物でカロリーダウン。野菜をたくさん取りましょう。（香川は野菜摂取量全国女性ファースト1位、男性ファースト2位）、又、減塩を心がけましょう。

### 【動脈硬化と心臓病】 上枝 正幸 循環器科主任部長

健康で長生きする秘訣は、血管を若々しく保つ事です。糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満を予防し、禁煙をすることは、血管の老化を防ぎ、心筋梗塞、脳血管障害を防ぐこととなります。運動療法、食事療法、病気の治療もしっかりやりましょう。

とても興味深い話が聞けたのでは？来年も皆様お誘い合わせの上お越しください。



## 第7回 三豊総合病院地域連携協議会を開催しました

平成25年2月28日（木）に『住民が安心して暮らせる為の救急医療体制を考える』をテーマとし第7回 三豊総合病院地域医療連携協議会を開催致しました。

三豊、観音寺、四国中央市医療機関より53名と職員54名の参加を頂きました。

「しのはら医院 篠原 豊彦理事長」、「三観広域行政組合消防本部消防防災課 垣見 尚秀係長」を講師としてお招きし、救急医療に関する実績報告ならびに課題についてお話しいただきました。

その後、6つのグループに別れ、『救急医療における病診、病病連携について』、『当地域での救急医療体制について』、『救急医療における問題事例について』討議を行いました。多職種より改善点等の多くのご意見もあり、今後も医療、福祉、行政それぞれが連携し、地域住民が安心して暮らせる為の救急医療体制に繋げていきたいと思っております。





### 新任医師紹介 よろしくおねがいします。



皮膚科 副院長

眞部 恵子 (まなべ けいこ)

2013年1月より当院へ着任させて頂きました。これまでは岡山県を中心に研修させて頂いておりました。坂出市の出身ですので、この度地元で仕事させていただく運びとなり嬉しく思います。どうぞよろしくお願い致します。

入院されていた男性患者様退院にあたり感謝の言葉を書いて下さいました。私達(病院で仕事をしている者達)の励みになります。有難うございました。

リハビリテーション科



病癒え  
支えられし  
絆のありがたさ



### 毎月の簡単レシピ 栄養管理科

魚に春と書く『鯖(さわら)』がおいしくなる季節です。今回は旬の鯖を使った利休焼を紹介します。他の魚でも代用できます。ぜひ作ってみてはいかがでしょうか？

#### 魚の利休焼 (4人分)



鯖	4切れ	ピーマン	2個
マーガリン	小さじ2	玉ねぎ	半個
みりん	大さじ1	バター	小さじ1
醤油	大さじ1	こしょう	少々
ごま	適量		

- ① 醤油・みりん・ごま・溶かしたマーガリンに鯖を浸ける。
- ② フライパンで照り焼きの要領で焼く。(焼いた後でごまをちらしても良い。)
- ③ ピーマン・たまねぎは線切りにしてバター・こしょうでソテーにし、付け合わせる。

#### 2月 節分行事食



ご飯・いわしの塩焼き・豚汁・白和え・節分豆

#### 3月 お雛まつり行事食



桜ご飯・魚の塩焼き・菜の花和え・すまし汁・雛あられ